

2019年3月期 第3四半期 決算概要

テルモ株式会社

常務執行役員

北畠 一明

2019年2月7日

出荷遅延の正常化により、業績は回復基調

(億円)

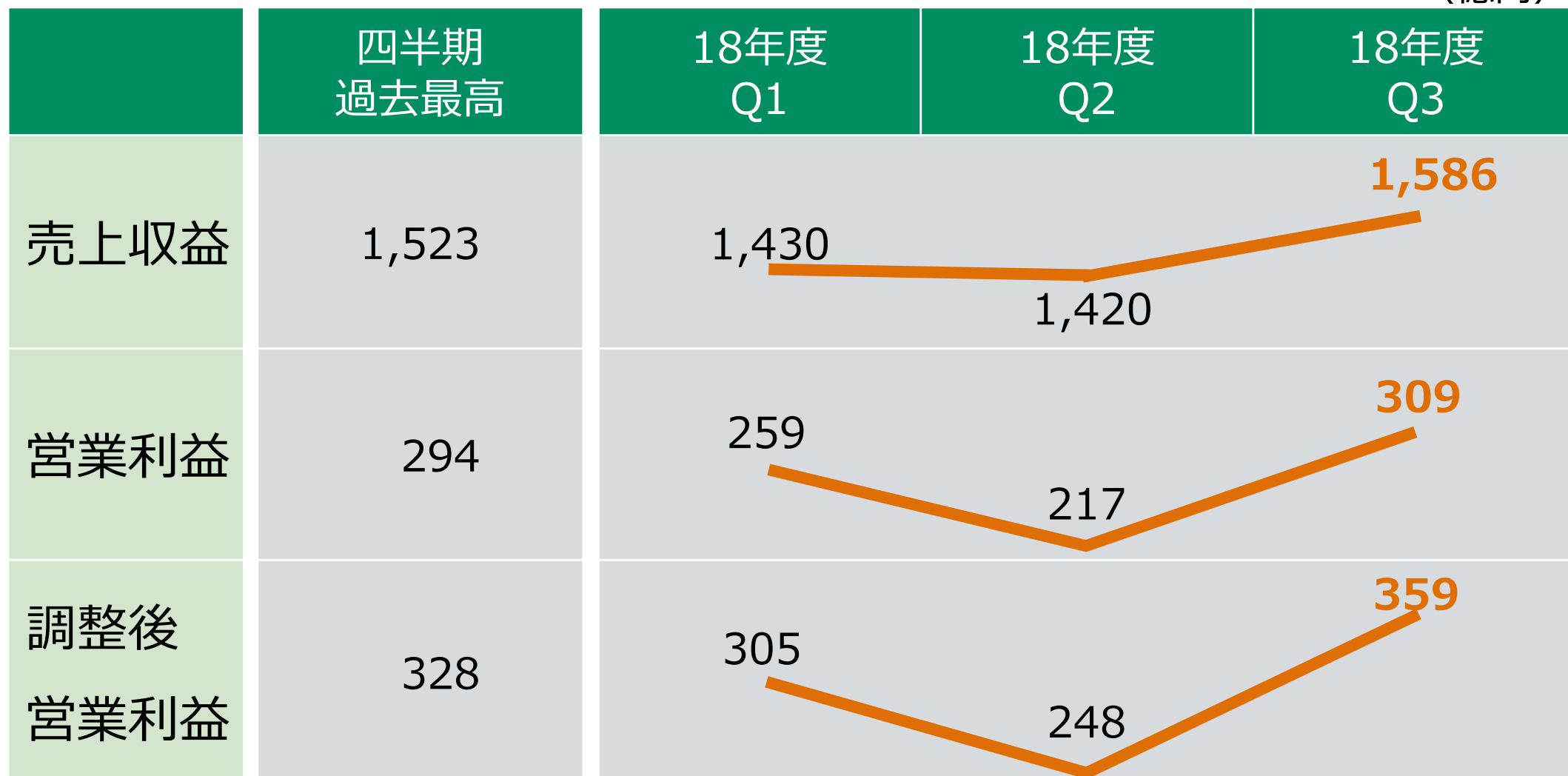
	17年度Q3累計	18年度Q3累計	増減率	為替除く増減率
売上収益	4,370	4,436	+2%	+2%
売上総利益	2,386 (54.6%)	2,422 (54.6%)	+1%	+2%
一般管理費	1,252 (28.7%)	1,320 (29.8%)	+5%	+6%
研究開発費	289 (6.6%)	360 (8.1%)	+25%	+25%
その他収益費用	20	44	-	-
営業利益	866 (19.8%)	785 (17.7%)	-9%	- 8%
調整後営業利益	976 (22.3%)	912 (20.6%)	-7%	- 6%
税引前利益	856 (19.6%)	750 (16.9%)	-12%	
当期利益	770 (17.6%)	565 (12.7%)	-27%	

期中平均レート	USD	112円	111円
	EUR	129円	129円

- 売上収益 : 全カンパニーでプラス伸長。心臓血管は出荷遅延から回復、ホスピタルは堅調に推移
- 調整後営業利益 : 売上収益の回復に伴い、減益幅が縮小
- 税引前利益 : 前年同期の為替差益 (2億) に対し、今年度は差損 (-32億)
- 当期利益 : 前年同期は米国税制改革による一過性のプラス要因 (151億)

四半期として過去最高を更新

(億円)



四半期	USD	109円	111円	113円
平均レート	EUR	130円	130円	129円

下期業績予想通りの進捗

(億円)

	18年度 下期業績予想	18年度 Q3実績	進捗率
売上収益	3,150	1,586	50%
営業利益	600	309	51%
調整後営業利益	670	359	54%
当期利益	440	220	50%

為替レート	USD	105円	113円
	EUR	130円	129円

調整後営業利益：調整額

(億円)

	17年度Q3累計	18年度Q3累計
①買収無形資産の償却費	105	110
②一時的な損益 ※	5	17
調整額	110	127

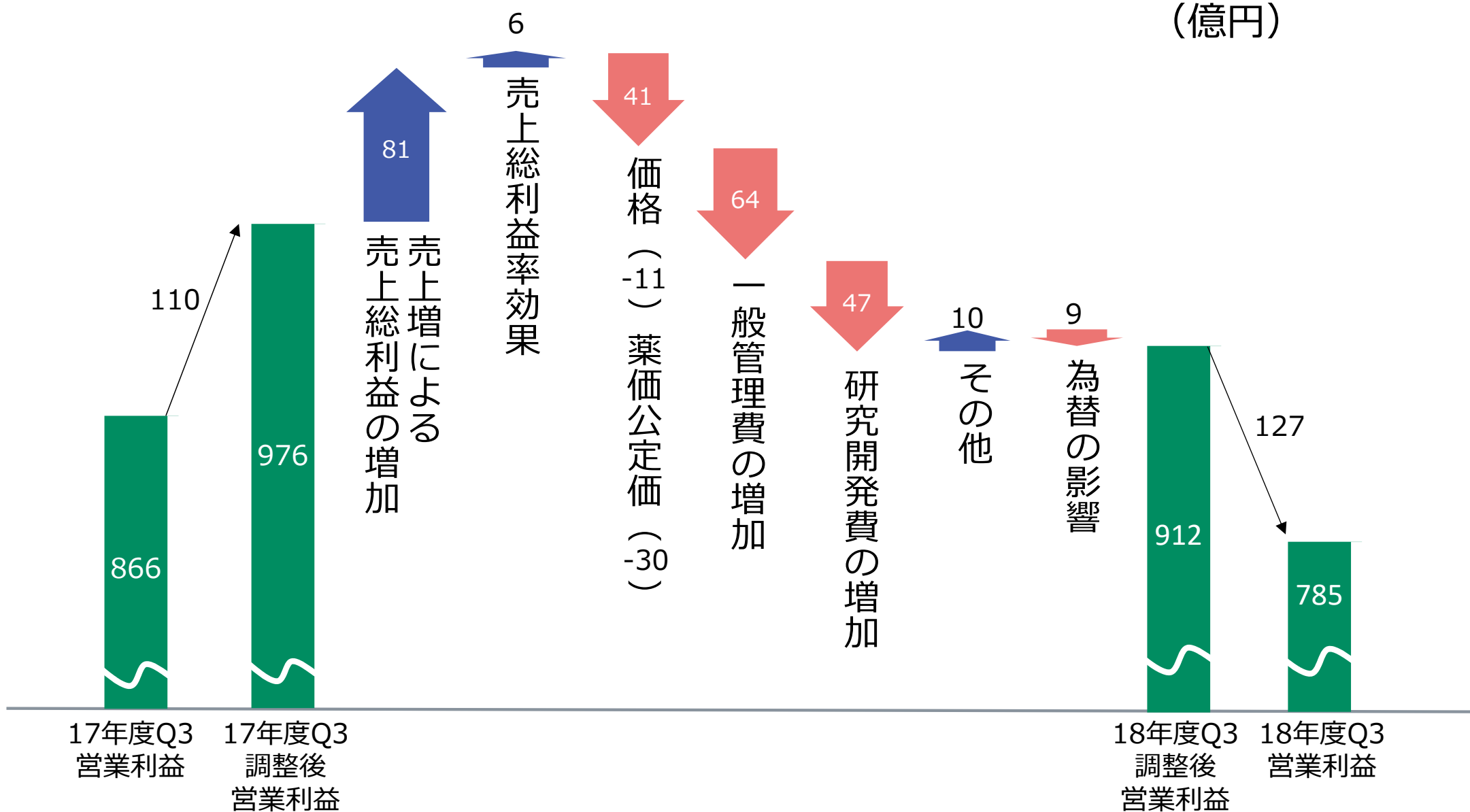
※調整項目

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整項目	調整額
ニューロWEB マイルストーン支払い引当計上 (-20)	+20
和解金受取 (+23)	-23
プエルトリコ工場災害保険金受取 (+11)	-11
ベンチャー開発投資除却 (-10)	+10
固定資産除却損等 (-6)	+6
買収アドバイザー費用等 (-4)	+4

調整後営業利益増減分析 (IFRS)

(億円)



地域別売上収益

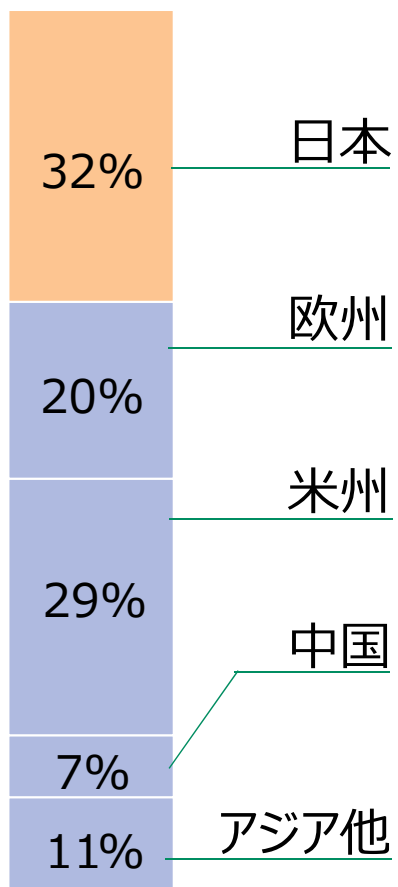
■ 18年度Q3累計
■ 17年度Q3累計

売上収益

100% = 4,436億円

売上収益前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く		
日本 1,422 (18年度Q3累計) 1,429 (17年度Q3累計)	-0%	心臓血管は公定価改定や出荷遅延の影響を受けマイナス伸長。ホスピタルおよび血液システムは好調を維持
欧州 882 (18年度Q3累計) 861 (17年度Q3累計)	+2% (+3%)	心臓血管はプラス伸長へ回帰。ホスピタルは二桁伸長継続。血液システムも堅調に推移
米州 1,297 (18年度Q3累計) 1,263 (17年度Q3累計)	+3% (+4%)	TIS事業が出荷遅延の影響を受けるもプラス伸長へ回帰。ホスピタルは好調維持
中国 328 (18年度Q3累計) 312 (17年度Q3累計)	+5% (+5%)	全カンパニーにおいてプラス伸長を継続
アジア他 508 (18年度Q3累計) 504 (17年度Q3累計)	+1% (+3%)	心臓血管が出荷遅延からの回復傾向をみせ、全体でプラス伸長へ

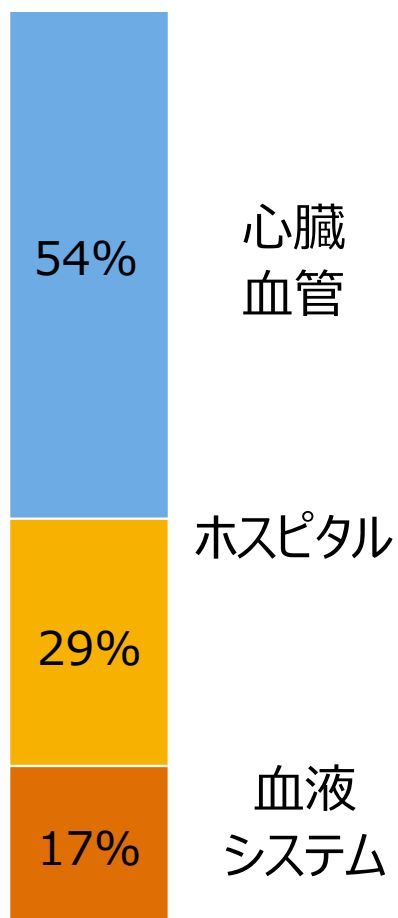


カンパニー別売上収益

■ 18年度Q3累計
■ 17年度Q3累計

売上収益

100% = 4,436億円



売上収益前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く		
心臓血管 2,410 (18年度Q3累計) 2,400 (17年度Q3累計)	+0% (+1%)	公定価改定や出荷遅延の影響を乗り越えプラス伸長へ回帰
ホスピタル 1,259 (18年度Q3累計) 1,202 (17年度Q3累計)	+5% (+5%)	全セグメント堅調に推移。アライアンス事業はグローバルで3割以上の伸長
血液システム 766 (18年度Q3累計) 765 (17年度Q3累計)	+0% (+2%)	血液センター向け製品が堅調に推移

心臓血管：売上収益はプラス伸長へ回帰

(億円)

	17年度 Q3累計	18年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上 収益	2,400	2,410	+0% (+1%)	TIS : 国内の公定価改定の影響	
				出荷遅延から回復傾向	-20
				ニューロ : 二桁伸長を継続	+32
				CV : 次期血液モニターへの切り替え遅れ	-2
				血管 : 国内における直販移行に向けた調整	-1
調整後 営業 利益 (率)	634 (26%)	580 (24%)	-8% (-8%)	研究開発費を増加させながらも販管費をコントロール。 売上収益の回復に伴い、減益幅を縮小	

ホスピタル：堅調に推移し、増収増益を達成

(億円)

	17年度 Q3累計	18年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上 収益	1,202	1,259	+5% (+5%)	医療器	+9
				: 国内で輸液ラインや閉鎖式抗がん剤 投与システム等が堅調に推移	
				医薬品	+10
				: 輸液剤や疼痛緩和が二桁伸長。 癒着防止材の拡販	
				DM・ヘルスケア: DM事業が堅調に推移	+1
				アライアンス : 国内外で3割超の伸長	+38
調整後 営業 利益 (率)	212 (18%)	223 (18%)	+5% (+5%)	研究開発費が増加する中、高付加価値製品の 売上伸長により増益	

血液システム：計画に沿った堅調な推移

(億円)

	17年度 Q3累計	18年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
--	--------------	--------------	-----	--------	----

() 内は為替影響除く

売上
収益

765

766

+0%
(+2%)

血液センター : グローバルで血液自動

製剤化装置などが牽引

+13

アフレスリス治療 : 昨年度の特需の影響を受け

マイナス伸長

-14

調整後
営業
利益
(率)

122

109

-11%
(-8%)

販管費および研究開発費の増加に伴い減益

(16%)

(14%)

主なトピックス

- 5製品がグッドデザイン賞を受賞。テルモとして23年連続の受賞(10月)

全社



癒着防止吸収性バリア
「アドスプレー」



粘度可変型流動食
「マーメッドワン」



ポータブルインスリン用輸液ポンプ
「メディセーフウィズ」



グルコース分析装置
「メディセーフフィットプロII」



手首血管からの
下肢血管治療システム
「R2P」

- 米FDAよりプレミックス製剤のGMP適合認定を取得(11月)

- PTCAバルーン「Ryurei」を日本で発売(12月)

- 薬剤充填用注射器「PLAJEX」採用のバイオシミラー、欧州で市場導入(12月)

事業

- 脳梗塞用・血栓吸引カテーテル「SOFIAFLOW Plus」、
国内における製造販売承認を取得(12月)

- 脳梗塞用・ステント型血栓除去デバイス「Tron FX」、国内独占販売契約締結(12月)

- 脳動脈瘤治療用の袋状塞栓デバイス「WEB」、米PMA承認を取得(12月)

18年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ
アクセス	ディスタラジアル用止血デバイス	日	FY19
心臓	PTCAバルーン	米	済み
	PTCAバルーン	日	済み
		欧亜	FY19Q1
	DES (Ultimaster Tansei)	日欧亜	済み
ペリ フェラル	ステント (TRI)	日米	FY19
	PTAバルーン (TRI)	日米	済み
	PTAガイドングシース (TRI)	日米	済み
	薬剤塗布バルーン	欧	FY19
脳	中間カテーテル (Sofia EX)	欧米	FY19上期
	ミニ・バルーン	欧米	FY19上期

領域	製品	地域	ローンチ
CV	次世代人工肺	欧米	Q4
		日	FY19
	次期・血液モニター	欧米亜	済み
血管	胸部用ステントグラフト (低プロファイル)	欧	済み
		欧	済み
医療器	静脈可視装置	日	済み
DM	パッチ式・インスリンポンプ	日	FY19上期
血液	次期・成分採血装置ソフトウェア	欧米亜	済み
		欧米亜	済み

参考資料

四半期の動き

(億円)

	17年度Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	18年度Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)
売上収益	1,523	1,508	1,430	1,420	1,586
売上総利益	832 (54.6%)	807 (53.5%)	799 (55.8%)	747 (52.6%)	876 (55.2%)
一般管理費	438 (28.7%)	459 (30.4%)	435 (30.4%)	435 (30.5%)	450 (28.4%)
研究開発費	107 (7.0%)	124 (8.2%)	113 (7.9%)	124 (8.8%)	123 (7.7%)
その他収益費用	6	- 4	8	29	6
営業利益	294 (19.3%)	220 (14.6%)	259 (18.1%)	217 (15.3%)	309 (19.5%)
調整後営業利益	327 (21.5%)	274 (18.1%)	305 (21.4%)	248 (17.4%)	359 (22.6%)

四半期	USD	113円	108円	109円	111円	113円
平均レート	EUR	133円	133円	130円	130円	129円

18年度Q3累計 事業別・地域別売上収益と伸長率

(億円)

事業 セグメント	日本	海外					合計
		計	欧州	米州	中国	アジア	
心臓血管	354 (-13%)	2,056 (+4%)	623 (+2%)	919 (+5%)	267 (+5%)	247 (+3%)	2,410 (+1%)
うちカテーテル※	266 (-14%)	1,666 (+4%)	501 (+2%)	711 (+6%)	249 (+5%)	206 (+3%)	1,932 (+1%)
ホスピタル	978 (+4%)	281 (+8%)	70 (+13%)	62 (+10%)	19 (+15%)	131 (+3%)	1,259 (+5%)
血液システム	90 (+7%)	676 (+1%)	189 (+3%)	316 (-0%)	42 (+2%)	129 (+4%)	766 (+2%)
合計	1,422 (-0%)	3,014 (+4%)	882 (+3%)	1,297 (+4%)	328 (+5%)	508 (+3%)	4,436 (+2%)

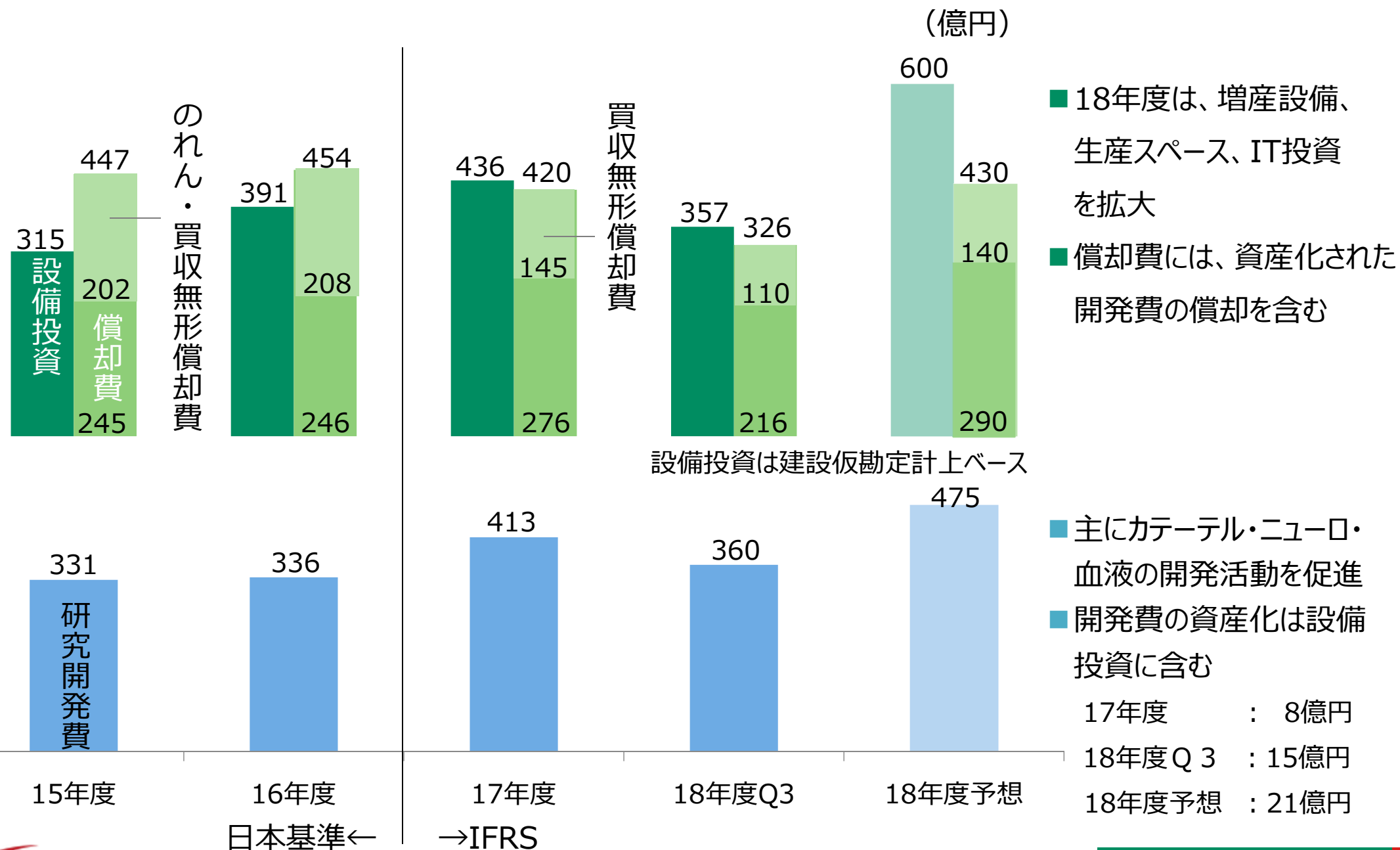
※ニューロバスキュラー事業含む
() 内は為替影響除く前年比伸長率

販管費

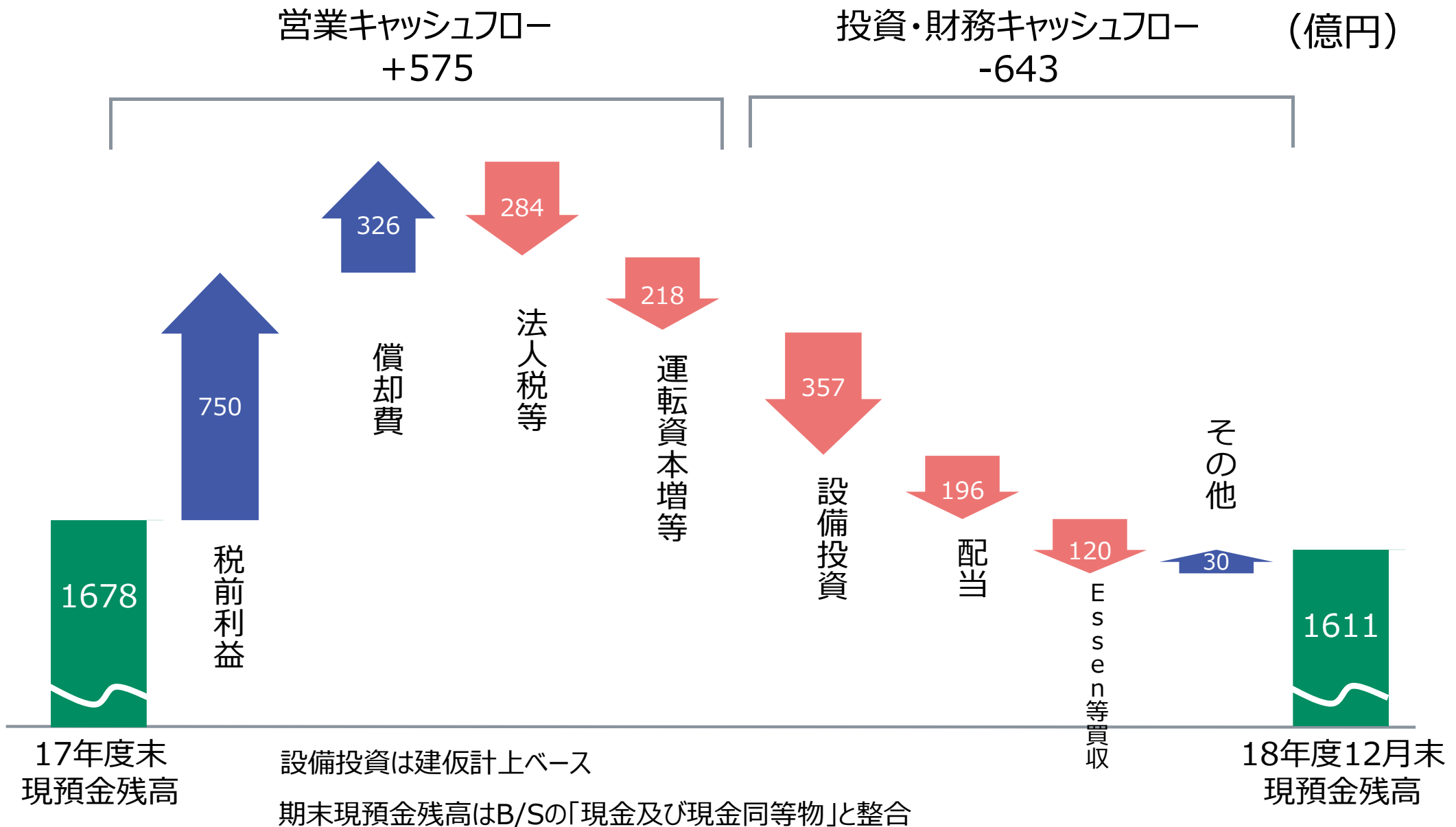
(億円)

	17年度 Q3累計	18年度 Q3累計	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	626	655	+29	+5%	+5%
販促費	126	133	+7	+6%	+6%
物流費	94	101	+7	+7%	+8%
償却費	106	104	-2	-1%	-1%
その他	300	327	+27	+9%	+9%
一般管理費計	1,252 (28.7%)	1,320 (29.8%)	+68	+5%	+6%
研究開発費	289 (6.6%)	360 (8.1%)	+71	+25%	+25%
販管費合計	1,541 (35.3%)	1,680 (37.9%)	+139	+9%	+10%

設備投資と研究開発費



キャッシュフロー



為替感応度

1円の円安に対しての年間影響額 (億円)

	USD	EUR	人民元
売上収益	16	8	20
調整後営業利益	0	5	10

<参考> 10%円安に動いた時のインパクト

	北米	中南米	欧州		アジア	
			ユーロ圏	その他	人民元	その他
調整後営業利益	-1	9	60	13	17	33

転換社債の状況

■ 社債明細 (2014年12月起債)

満期	発行額 (億円)	金利	転換価格 (円)	転換制限 価格 (円)	転換の場合 必要となる株数
2019年12月	500	0.0%	3,853	5,009	13.0百万株
2021年12月	500	0.0%	3,853	5,009	13.0百万株
計	1,000				25.9百万株

■ 転換状況 (2019年1月31日時点)

対象社債	転換行使額 (対象社債総額比)	交付株数 (発行済株式総数比)
2019年12月満期	489.4億円(97.88%)	12.7百万株(3.34%)
2021年12月満期	236.2億円(47.24%)	6.1百万株(1.61%)
計	725.6億円(72.56%)	18.8百万株(4.96%)

➤ 転換行使による株式交付は自己株式を充当

・自己株式の状況： 8.9百万株(2019年1月末時点、取得単価3,897円、発行済総数比2.3%)

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。